

平成 24 年 12 月 6 日

学生野球資格問題

今後の協議会における選手会の方針について

日本プロ野球選手会  
事務局長 松原徹

本日開催されました日本プロ野球選手会定期大会にて、学生野球資格問題に関し、2013年の選手会最重要課題として取り組み、2013年でのプロアマ解禁に向けて交渉を行うことを決議しましたので、ご報告いたします。

この点、別紙のとおり、選手会では、2012年に発足した「学生野球資格に関する協議会」において、日本野球界の未来のため、その未来を担う青少年のために、プロ野球と学生野球の間を隔てる学生野球資格という問題の改善に関し、学生野球側に理解を求めて参りました。

しかしながら、前回 11 月 12 日に開催された第 4 回協議会においては、6 月 25 日にプロ側から提案した学生野球資格回復に関する研修制度案に関し、高野連において何ら検討が進んでいない状況が明らかとなり、日本野球界を前進、発展させる意欲を全く感じることができませんでした。次回 1 月 17 日に第 5 回協議会が予定されていますが、このような高野連の態度がある中で、具体的な議論ができる見通しも立っていない現状があります。

このような現状を踏まえ、本日の選手会定期大会では、2013年、野球界として新たな一歩を踏み出すために、上記決議を行いました。

今後は、選手会の決議内容を NPB、そして学生野球側に伝達し、断固たる決意をもって、プロアマ完全解禁に取り組んでいく所存です。